

人口	77,708	前月比	+ 8
{男}	37,326		
{女}	40,382		
世帯数	19,416		+40

おおだて

編集と発行—大館市役所
 発行年月日—昭和45年7月1日
 発行日—毎月1日
 定価 1部5円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

市長と語る会

市民の皆さんのご意見やご要望をお聞きし、これを市政に反映させるため、今年もつぎの日程で「市長と語る会」を行ないます。あらゆる層の方々からご意見を拝聴したいと考えておりますので、となり近所の方々をおさそいのうえ、多数お集まりくださるよう、ご案内いたします。

7月20日(月)	十二所公民館
7月21日(火)	二井田 //
7月22日(水)	真 中 //
7月24日(木)	上川沿 //
7月27日(月)	下川沿 //
7月28日(火)	長 木 //
7月29日(水)	駅迎内 //
7月30日(木)	花矢支所

時間—いづれも午後2時~5時

市民歌がきまりました

歌おう高らかに!

郷土の歌を

鳳凰のみどりあふれてあたらしく……

大館市制施行20年を記念して、一般から公募して入選になった木沢長太郎氏の市民歌詞に、かねてから大館市出身の中川康多氏に作曲をお願いしていたところ、このほどできてきました。

曲は、他市の市民歌にはみられない現代的な行進曲風で、飛躍的な大館市の誇りをうたいあげるにふさわしいものと、作曲選考委員会の諸先生方も満足しています。

この市民歌の発表会は、10月に予定されている「市制20年記念式典」の場で披露する予定です。ピアノやオルガンなどをお持ちのご家庭の皆さんのため、楽符をのせました。私たち郷土の誇りある歌です。ひとり、ひとりが口ずさみ、声高らかに歌いつづけようではありませんか。

大館市民歌

行進曲風 $\text{♩} = 106$

作曲 中川康多

ほ う - お う の み ど り あ ふ れ - て あ
 ら し く あ け ゆ く せ ら - よ お
 う - た て は ひ ら け ゆ く ま - ち わ か
 い ゆ め め ぶ く な み き の い - ろ は え る わ
 が - し の す が た た た - え よ う た
 た え よ う の - そ - み あ か - る - く

<作曲者の経歴>

中川康多氏(42才)(故達子勝蔵校長の三男)

現住所 愛知県稲沢市国林宮町中切537
 勤務先 昭和36年より新神戸電機KK名古屋営業所(守口工場経理課)

略 歴

昭和15年	県立大館中学校入学
昭和20年	復員、大館中学校卒業
昭和20年	9月大館郵便局勤務
昭和21年	秋田師範学校に入学
昭和25年	矢立中学校教員
昭和28年	病氣退職

作 曲 歴 (県関係のみ)

- 東京芸大音楽学部作曲科の通信教育
- 県音楽コンクールの作曲部門で優賞1回受賞4回
- 中村小、大葛小、七座小、杉沢小学校等の校歌作曲
昭和26年鳳鳴音楽部合唱団のため「からまつ」
昭和38年大館商業校歌等作曲
- その他中京地区で活躍している

大館市民歌

作詞 木沢長太郎
 市民歌選考委員会補作
 作曲 中川康多

- 一、鳳凰のみどりあふれて
あたらしく 明けゆく空よ
大館は ひらけゆく都市
若い夢 芽ぶく並木の
色はえる わが市のすがた
たたえよう
たたえよう のぞみあかるく
- 二、米代の ながれるほとろ
めぐみわく 穂なみの風よ
大館は 幸を生む都市
生産の こだまゆたかに
伸びてゆく わが市のちから
たかめよう
たかめよう 明日の栄えに
- 三、桂城の文化のあゆみ
かぐわしく 花咲く道よ
大館は ひかり呼ぶ都市
大文字の 虹をいろどる
あこがれの わが市のほこり
かかげよう
かかげよう こころあらたに